

来週の「売り物」、記事はこれ



2016年4月15日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「鉄と原子力 企業城下町の光と影」

17日(日)



日本の近代化を土台で支えた鉄の町・岩手県釜石市と原発の町・福島県富岡町。栄えた町は製鉄所の撤退と東日本大震災による原発事故で衰退しました。釜石公害闘争の先頭に立った元教師の中川淳さん(82)と、住民避難後も富岡町にとどまり、置き去りにされた牛などの世話をする元原発建設作業員、松村直登さん(56)を取材し、日本という国の姿を考えました。戦後、焼土で始まった釜石の復興は朝鮮戦争特需の追い風を受けましたが、その影で徐々に海は汚染され、緑色のカキが現れます。また、「復興五輪」を掲げた2020年東京五輪では、原発事故の対応拠点となっている施設を事前合宿場に活用する計画があります。しかし、原子炉の解体は目処が立たず、除染作業は遅れているのが現実。「自由に異議を申し立てられる社会にならなければ人は過ちを繰り返す」と中川さんは言います。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

今も高視聴率をたたきだすお化け番組

「笑点」50年 愛され続けるワケ

夕刊2面特集ワイド 19日(火)



♪チャンチャカチャカチャカ チャンチャン——。日曜夕方のお楽しみ、日本テレビの「笑点」が1966年5月の放送開始から、50年を迎えます。「長寿」というだけでなく、今も高視聴率を維持しているお化け番組。半世紀もの間、お茶の間で愛され続けるのは、なぜなのかを探りました。2代目・座布団運びを務めた毒蝮三太夫さんが、初代司会者の故・立川談志さんの思い出なども語っています。

優先すべき課題は、景気回復か、財政再建か——

消費増税「延期」の是非を問う

オピニオン面 [論点] 20日(水)

「再度の延期はない」。安倍晋三首相がかつてそう言明した消費税率の引き上げ。来年4月に10%になると見られていましたが、今年に入って風向きが変わってきました。景気の後退を理由に、政府・自民党内で延期論が公然と語られ始めたのです。景気への配慮を優先するのか。それとも痛みを伴う財政再建こそ喫緊の課題なのか。立場の異なる専門家にを聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

地震対策「夜、自宅で大きな揺れを感じたら」

くらしナビA面 20日(水)



熊本県で起きた大地震は多くの方が自宅で休もうとしていた時間帯に発生しました。余震が続く中、停電で何も見えない暗闇にいるのは大きな恐怖です。家具が倒れ、家財が散乱すると避難の妨げにもなります。とっさの揺れに際して家族全員の命を守り、安全な場所にたどり着くまでにすべきことは何でしょうか。万一に備えた防災対策を含めて考えます。

連載「家族2016」第2部

くらしナビA面 21日(木)から

高齢化の進展で介護が大きな社会問題になっています。介護が必要になると家族の生活は一変し、大切な人との絆が揺らぐことすらあります。「要介護」となったとき、頼れるものは何でしょうか。離れた場所に住む肉親を世話する遠距離介護が始まると、家族はどう変わるのでしょうか。連載第2部では、介護を巡るさまざまな家族の姿や、社会の動きを追います。



「My Way わたしの生き方」 おんなのしんぶん 18日(月)



各分野で活躍する女性にインタビューし、しなやかでたくましく生きる姿に迫る新企画。初回は、モデルで女優の桐島かれんさんです。神奈川・湘南で生まれ、上智大学を経て資生堂イメージキャラクター、ボーカルデビュー、結婚、出産、そしてインテリア雑貨を扱うライフスタイルショップ開店。51歳を迎えた現在までの歩みを振り返ってもらいます。読めば元気が出る記事です。ぜひご一読ください。

第74期名人戦第2局 22(金)、23日(土)

第74期名人戦第2局が22、23日、長野県松本市で行われます。羽生善治名人に、新鋭の佐藤天彦八段が挑戦しています。

第1局は羽生名人が貫禄勝ちしましたが、佐藤八段も終盤よく粘りました。3連覇と通算10期に向けて羽生名人が前進するのか、佐藤八段が勝って五分に戻すのか。

松本市で名人戦が指されるのは初めて。城下町で熱い戦いになりそうです。

